

教育研究上の目的

児童教育学科は、子どもを深く理解し、多様な人と協働するとともに、生涯にわたって学び続ける基本姿勢をもった人材の育成を目指し、大学と地域の学校等での実体験を通した往還的な学びに基づいて、豊かな人間性と教職への強い使命感をもち、学校教育が抱える現代的な諸課題に対応できる実践力を身につけた教員を養成することを教育研究上の目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

児童教育学科では、教育研究上の目的を達成するために、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 自律的に学ぶ姿勢や、時代の変化やキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていく態度を身につけている。
2. 学校教育の今日的な諸課題の解決に向けて、多様な人と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に取組む能力を身につけている。
3. 小学校教育を基本に特別支援教育・幼児教育・英語教育等への学びを究め、幼小及び小中の円滑な接続等に関する知識と技能を身につけ、これからの時代の教育を創造している。

そのうえで、次の資質及び能力を有している者に「学士（教育学）」の学位を授与する。

①知識・技能

1. 自ら主体的に教材研究を行うとともに、学習指導要領の内容を理解し、各教科等の指導の展開に応じた、教材・教具、指導方法を工夫するための基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 子どもの特性や心身の状況を把握したうえで学級経営案を作成し、具体的な教育活動を組み立てるための基礎的な知識・技能を身につけている。
3. 学校教育の今日的な諸課題を解決するために、情報を収集し、課題発見するための基礎的な知識・技能を身につけている。

②思考力・判断力・表現力

1. 子どもの声を真摯に受け止めたり、保護者や地域の意見・要望に耳を傾けたりするとともに、学校が組織として連携・協力しながら課題に対応していることについて考え、表現する力を身につけている。
2. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、課題に対処するために必要なことを考え、表現する力を身につけている。
3. 組織の一員として協調性や柔軟性をもって校務の運営に参加し、自らの役割・職務を遂行するために必要なことを考え、表現する力を身につけている。

③主体性・多様性・協働性

1. 自己の課題に気づき、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
2. 気軽に子どもに声をかけたり、顔を合わせたり、相談に乗ったりする中で、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を持っている。
3. 教員の使命や職務について理解し、自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

児童教育学科では、教員として必要な資質や能力を養うために、講義・演習・実技・学校インターンシップ・教育実習等を通して、教育学や教育理論と教育実践との往還的な学習を深めるようカリキュラムを編成することを基本とし、各領域では以下の力を育成することを目指す。

1. 「初等教育教員養成分野」領域では、小学校教員の基盤となる各教科等の知識・技能を身につけ、確かな指導方法を理解する力を育成する。
2. 「特別支援教育分野」領域では、インクルーシブ教育の実現に向けた確かな知識・技能を身につけ、特別支援教育についての高い専門性を有する力を育成する。
3. 「学校実地研究分野」領域では、理論と実践の往還を重視した実践的指導力を育成する。
4. 「学校教員実力養成分野」領域では、多様な表現活動や演習を通して組織の一員としての協調性や柔軟性を身につけ、他者とコミュニケーションできる力を育成する。
5. 「幼稚園教員養成分野」領域では、幼稚園教員として確かな知識・技能を身につけ、幼稚園、小学校との接続・連携を推進できる力を育成する。
6. 「中等教育教員養成（外国語）分野」領域では、英語教育を推進できる中学校・高等学校教員として確かな知識・技能を身につけ、小学校との接続・連携を推進できる力を育成する。
7. 「演習」領域では、自己の課題に向けて研究を深め、探究心や学び続ける力を育成する。

そのための教育課程の編成方針は以下のとおりである。

初等教育教員養成分野

1. 小学校各教科・領域等の学習指導要領の内容を理解し、教材研究を行うとともに、基本的な学習指導案を作成し、教材・教具、指導方法の工夫をすることができる。
2. 子どもの状況に応じた基本的な学級経営案を作成し、具体的な教育活動を組み立てることができる。
3. 小学校教育の今日的な諸課題を知り、その解決のための基礎的な知識・技能を身につけている。
4. 子どもの声を真摯に受け止め、保護者や地域の意見等を尊重し、学校組織の一員としてさまざまな課題にどう対応していくか考え、主体的に提案することができる。
5. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、自身の考えを積極的に発信し、課題解決のためのよりよい方法を創出することができる。
6. 学校組織の一員として校務の運営について理解し、自らの役割・職務に即して、協調性・柔軟性をもって取り組むことができる。
7. 自己の課題に気づき、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
8. 積極的に子どもに関わり、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を持つことができる。
9. 教員の使命や職務について理解し、自発的・積極的に自己の責任を果たそうとする姿勢を持っている。

特別支援教育分野

1. 自ら主体的に教材研究を行うとともに、学習指導要領の内容を理解し、各教科等の指導の展開に応じた、教材・教具、指導方法を工夫するための基礎的な知識・技能を習得している。
2. 子どもの障害特性や心身の発達段階の状況を把握したうえで学級経営案を作成し、具体的な教育活動を組み立てるための基礎的な知識・技能を習得している。
3. 特別支援教育の今日的な諸課題を解決するために、情報を収集し、課題発見するための基礎的な知識・技能を習得している。
4. 子どもの行動や声を真摯に受け止めたり、保護者や地域の意見・要望に耳を傾けたりするとともに、学校が組織的に対応し、関係機関と連携・協力しながら課題に対応していることについて考え、表現する力を身につけている。

5. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、課題に対処するために必要なことを考え、表現する力を身につけている。
6. 組織の一員として協調性や柔軟性をもって校務の運営に参加し、自らの役割・職務を遂行するために必要なことを考え、表現する力を身につけている。
7. 自己の課題に気づき、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
8. 子どもの行動を的確に捉え、理解する中で、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を持っている。
9. 教員の使命や職務について理解し、自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

学校実地研究分野

1. 児童の実態や各教科等の指導の展開に応じた、教材・教具、指導方法を工夫するための基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 子どもの特性や心身の状況を把握したうえで学級経営案を作成し、実践することができる。
3. 学校教育の今日的な諸課題を知り、その解決のための基礎的な知識・技能を身につけている。
4. 子どもの声を真摯に受け止め、学校組織の一員としてさまざまな課題にどう対応していくか考え、主体的に提案することができる。
5. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、自身の考えを積極的に発信し、課題解決のためのよりよい方法を創出することができる。
6. 組織の一員として協調性や柔軟性をもって校務の運営に参加し、自らの役割・職務を遂行するために必要なことを考え、表現する力を身につけている。
7. 自己の課題に気づき、その解決に向けて自己研鑽に励み、自らの指導力等を高めようとする姿勢を持っている。
8. 子どもに声をかけたり、相談に乗ったりする中で、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を持っている。
9. 教員の使命や職務について理解し、自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

学校教員実力養成分野

1. 各教科または学科横断的な指導の展開に応じた、教材・教具、指導方法を工夫するための基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 子どもの特性や発達を理解したうえで学級経営案を作成し、一人一人の児童の個性を尊重した教育活動を組み立てるための基礎的な知識・技能を身につけている。
3. 科目等の特性に応じた課題を発見し、情報を収集しながら課題を解決するための基礎的な知識・技能を身につけている。
4. 多様な表現活動や演習を通して、教員として必要となる表現力や具体的な指導法を身につけている。
5. 他者と協力して課題解決の方法を探求する力を身につけている。
6. 子どもの学習環境をより良くするための方法や、児童同士の学び合いが活性化するための工夫を考え、実践することができる。
7. 自己の課題に気づき、その解決に向けて自己研鑽に励み、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
8. 他者と協働して一つのものをつくり上げたり、学習を深めたりすることができる。
9. 学校教育に関する今日的な課題について学びを深め、地域連携や学校種連携の視点をもって自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

幼稚園教員養成分野

1. 幼稚園教育要領の内容を理解し、幼稚園教育関連の基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 幼児の特性や心身の状況を把握している。
3. 幼稚園教育の今日的な諸課題を解決するための情報を収集することができる。
4. 幼稚園が組織として連携・協力しながら課題に対応していることに気づくことができる。
5. 他者の意見やアドバイスに積極的に耳を傾けることができる。

6. 組織の一員としての協調性や柔軟性をもっている。
7. 自己の課題に気づき、常に学び続けようとしている。
8. 進んで児童に声をかけたり、顔を合わせたり、相談に乗ったりすることができる。
9. 幼稚園教員の使命や職務について理解することができる。

中等教育教員養成（外国語）分野

1. 自ら主体的に教科専門の理解にもとづき教材研究を行い、学習指導要領を踏まえた外国語教育指導の展開に応じた、教材・教具（ＩＣＴの活用を含む）、指導法を工夫するための基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 生徒の特性や心身の状況を把握したうえで、外国語教育に関する教科経営案を作成し、具体的な学習指導・生徒指導を組み立てるための基礎的な知識・技能を身につけている。
3. 外国語教育に関する今日的な課題を解決するために、情報を収集し、課題発見するための基礎的な知識・技能を身につけている。
4. 生徒や保護者、地域の声に耳を傾けつつ、学校が組織として連携・協力しながら外国語教育に関する学習指導・生徒指導を展開するために必要な原理・原則について考え、表現する力を身につけている。
5. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、外国語教育に関する学習指導・生徒指導を展開するために必要な原理や原則について考え、表現する力を身につけている。
6. 組織の一員として協調性や柔軟性を持って外国語教育の教科経営に参画し、外国語教育の教員として自らの役割・職務を遂行するために必要な課題を発見し、追究し、表現する力を身につけている。
7. 外国語教育に関する自己の課題に気づき、その解決に向けて自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
8. 気軽に生徒に声をかけたり、顔を合わせたり、相談に乗ったりする中で、外国語教育の教員として生徒から学び、ともに成長しようとする姿勢を持っている。
9. 外国語教育に関する教員としての使命や職務について理解し、外国語教育に関する課題の解決に向けて自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

演習

1. 自ら選択した教育に関する今日的な課題について知識を深め、研究方法を的確に選択して、自分の考えを記述することができる。
2. 先達の研究成果や他者の考えに触れることで、自ら選択した教育に関する今日的な課題を解決するための知識・技能を身につけている。
3. 自己の研究課題を設定するための資料を収集して、その中から課題を発見し、教育環境がより良くなるための提案等を記述することができる。
4. 自ら選択した教育に関する今日的な課題について事例を研究したり、さまざまな意見を比較検討したりすることにより、自分の考えを形成し、表現することができる。
5. 仲間との協働学修を通して自己の学修課題を省察するだけでなく、他者への建設的な助言ができる。
6. 自ら選択した教育に関する今日的な課題について背景を分析し、課題を解決するために必要な手段等を考え、表現する力を身につけている。
7. 教育学や教育倫理に関する学修を深め、自己の学習課題に沿って研究を進めることができる。
8. 教育に関する今日的な課題を解決するために他者と協働して課題解決に当たろうとする姿勢を持っている。
9. 教育に関する今日的な課題を解決するために自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

児童教育学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を求める。

1. 自分のよさを伸ばしたい。
2. 子どもの喜びを自分の喜びとする。
3. 知的好奇心に富み、学び続ける力を備えている。

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 小学校教員免許や特別支援学校教諭免許、幼稚園教諭免許、中学校・高等学校教員免許（英語）の取得希望者で、取得に必要な高校までの教科・科目の基礎を身につけている。
2. 会話表現や文章表現に必要な国語の基礎的な知識を身につけている。
3. 教育に必要な幅広い教養を身につけるために、高校までの全ての教科・科目に関する基礎的な知識を身につけている。

②思考力・判断力・表現力

1. 自己を分析し、他者に対して自己についてアピールすることができる。
2. 質問や発問に対して臨機応変に答えることができる。
3. 与えられたテーマについて必要となる情報を想起し、整理し、自分の考えを伝えることができる。

③主体性・多様性・協働性

1. 自ら考え行動することができる。
2. 集団の中で他者の考えを受け入れながら自分の考えも他者に伝えることができる。
3. 課題に対して他者と協働して取り組むことができる。